

紀尾井 だより

9/10

September, October 2019
Vol.137



紀尾井ホール



紀尾井ホール室内管弦楽団 2020年度プログラム



紀尾井ホール
室内管弦楽団

Kioi Hall Chamber Orchestra Tokyo

日本製鉄文化財団

2020年は紀尾井ホールと紀尾井ホール室内管弦楽団の創立25周年。そこで各回に祝賀的、あるいは「始まり」にちなむような作品を少なくとも1曲は組み入れながら、壮大な声楽曲から管楽・弦楽セクションのみによる合奏作品まで、6か国にわたる古今の16曲を揃えました(その内KCO初演は10作)。どなたでもお楽しみいただけるバラエティ豊かなラインナップです。

第121回 2020
4/24(金)・25(土)

指揮 **ハルトムート・ヘンヒエン**
ソプラノ **イルセ・エーレンス**
テノール **ベンヤミン・ブルース**
バリトン **アンドレ・モルシュ**
合唱 **新国立劇場合唱団**

20年度定期演奏会の幕開けは、創設25周年のお祝いにふさわしい華やかなオラトリオ。紀尾井の25年前の「始まり」と、新たな時代の「始まり」を、名匠ヘンヒエンと寿ぎます。

ハイドン オラトリオ《天地創造》Hob.XXI:2



©Marjolein van der Klauw
ハルトムート・ヘンヒエン

第122回 2020
6/5(金)・6(土)

指揮・ヴァイオリン
ライナー・ホーネック

すべて同じ年に書き始められた作品で構成。前半はKCOの弦楽・管楽セクションそれぞれの魅力をたっぷりとお堪能いただきます。後半はホーネック自身の弾き振りによる大作ブラームス!

ドヴォルジャーク 管楽セレナード 二短調 Op.44, B.77
ブルックナー 弦楽五重奏曲へ長調 WAB112〜アダージョ
ブラームス ヴァイオリン協奏曲二長調 Op.77



©ヒダキトモコ
ライナー・ホーネック

第123回 2020
9/11(金)・12(土)

指揮・ヴァイオリン
リチャード・トネッティ

待望されたトネッティがいよいよKCOにデビューします。ハイドンとモーツァルトの番号付き交響曲のラスト作品に、武満の繊細とキラルの狂騒をはさむ最高に贅沢なセット。

ハイドン 交響曲第104番二長調 Hob.I:104《ロンドン》
キラル オラヴァ
武満徹 ノスタルジア〜アンドレイ・タルコフスキーの追憶に
モーツァルト 交響曲第41番ハ長調 K.551《ジュピター》



©Daniel Baud
リチャード・トネッティ

第124回 2020
11/20(金)・21(土)

指揮
サッシャ・ゲッツェル
メゾ・ソプラノ
スヴェトリナ・スタノヴァ

25周年を記念した《献堂式》を含む前半のテーマのひとつはゲッツェルの故郷“ウィーン”。2007年の第2番に続くゲッツェル&KCOのシューマンは、第4番のオリジナル版。全曲KCO初演のプログラムです。

ベートーヴェン 序曲《献堂式》Op.124
ツェムリンスキー シンフォニエッタ Op.23 (室内オーケストラ版)
ベルク 7つの初期の歌
シューマン 交響曲第4番二短調(1841年初稿版)



©Ozge Balkar
サッシャ・ゲッツェル



©Benjamin Ealovega
スヴェトリナ・スタノヴァ

第125回 2021
2/12(金)・13(土)

指揮・ヴァイオリン
ライナー・ホーネック
フルート
カール=ハインツ・シュッツ

“オールモスト・モーツァルト”。ウィーン・フィルの若き首席シュッツの独奏でモーツァルトとイベールの傑作協奏曲を聴き比べていただきます。後半はホーネックの名コンマスぶりを存分に。

モーツァルト 歌劇《皇帝ティートの慈悲》K.621〜序曲
フルート協奏曲第1番ト長調 K.313
イベール フルード協奏曲
モーツァルト ディヴェルティメント(第15番)変ロ長調 K.287
(第2ロンドン・セレナード)



©ヒダキトモコ
ライナー・ホーネック



©T.Tairadate
カール=ハインツ・シュッツ

開演時間 全回 金曜日/19:00 土曜日/14:00

定期会員募集! (5回の定期演奏会を同一曜日・同一座席・お得な料金で鑑賞いただく5公演連続券)

【継続のお手続き期間】 9月6日(金)~9月30日(月)

※定期会員の皆さまには、手続きのご案内をお届けします。詳しくはご案内をご覧ください。

【新定期会員募集】 11月6日(水)紀尾井ホールウェブチケット・午前0時~ / 電話受付・午前10時~

※詳しくは紀尾井ホール室内管弦楽団 2020年度定期演奏会パンフレット、または紀尾井ホール室内管弦楽団webページをご覧ください。

<http://www.kioi-hall.or.jp/resident> ➔





ライナー・ホーネック 2年間の任期延長のお知らせ

2017年度より紀尾井ホール室内管弦楽団の首席指揮者を務めるライナー・ホーネック氏の任期を、2年間(2022年3月まで)延長することを決定いたしました。2020年度からは1シーズンに定期演奏会2回、および特別演奏会「KCO名曲スペシャル」1回の3プログラム6公演を指揮いたします。

ごあいさつ

紀尾井ホール室内管弦楽団のファン皆さま。この度、首席指揮者としての契約が2年間延長されたことをご報告いたします。これから先も紀尾井ホール室内管弦楽団と素晴らしい演奏会を継続できることを私自身楽しみにしています。皆さまには、ぜひ私たちとより一層お付き合いを深め、たくさんのエキサイティングなコンサート経験をさせていただけることを願っています。

Rainer Honeck

こちらからメッセージ動画をご覧くださいませ。▲



紀尾井ホール室内管弦楽団によるアンサンブルコンサート 56



5 KCOと首席指揮者ホーネック&ウィーン・フィルのメンバーが紡ぐウィーンのエッセンス

ウィーン・フィルメンバーを迎えて マーラー 《大地の歌》

2020 1/17(金) 19:00開演

パリ管、バイエルン放送響と続いた、紀尾井ホール室内管弦楽団(KCO)メンバーとヨーロッパのオーケストラ・メンバーとのアンサンブルコンサート。今回はKCO首席指揮者ライナー・ホーネックと、彼の同僚であるウィーン・フィルのメンバーを招きました。演目は、かつてウィーン国立歌劇場およびウィーン・フィルのシェフを務めたマーラーの《大地の歌》を、その教え子のシエーンベルクが途中まで編曲し、後にライナー・リーンが仕上げた室内オーケストラ版。マーラーによる原曲は、それまでの彼の交響曲と異なり、本人が指揮する機会がなかったため、オーケストレーションの見直しができませんでした。そのため、管弦楽が分厚く、歌手の声が埋もれてしまう箇所が見られます。室内オーケストラ版では、その点が解消されるので、作品の骨格とともに、声楽パートが無理することなく明瞭に届くことが利点です。また、編曲といっても原曲の味わいを損なうことはなく、むしろ一味違う魅力に感じられることでしょう。コンサートの前半にはお正月らしくヨハン・シュトラウスのワルツをご用意しました。こちらもシェーンベルクやベルクによるサロン・オーケストラ用編曲でお楽しみいただけます。

6 神童と呼ばれた9歳のときから死の4年前まで、少年期と壮年期のコントラストが眩いモーツァルトの、誕生日に贈るコンサート

「音楽の冗談」 少年アマデウスから 壮年モーツァルトへ

2020 1/27(月) 19:00開演



〈詳細後日発表〉 友の会優先発売... 9/4(金) 一般発売...9/7(日)

紀尾井ホール開館25周年記念演奏会

トレヴァー・ピノックのモーツァルト「レクイエム」

2020 2/8(土)・9(日) 各日 14:00開演

独唱陣のアルト・パートはカウンターテナーが担当するのも注目です。また、この目的のために特別に編成された合唱団にもご期待ください。

紀尾井ホールと紀尾井ホール室内管弦楽団(KCO)の創立25周年を迎える2020年は、主催公演も、KCOの定期演奏会もお祝いムードに包まれます。それだけでなく、直前の20年2月にも少しだけ20年度を先取りした開館25周年記念コンサート企画しました。それが、トレヴァー・ピノックとKCOによるモーツァルトプログラムです。この作曲家の生涯最後の傑作《レクイエム》と大ト短調交響曲というセレクトは、祝祭的というにはいささか重厚ですが、作品そのものの充実と深さでもって25周年を飾ろうというピノックの意気込みが伝わってきます。そして《アヴェ・ヴェルム・コルプス》はまさに美しきの極み。その旋律は昨年のKCO定期でブルネロが採り上げたチャイコフスキーの《モーツァルティアーナ》にも引用されており、前年からの繋がりも感じられます。



トレヴァー・ピノック

紀尾井
たのみの名曲
②

長唄 勧進帳

かんじんちょう

12/13 金

16:00開演

友の会優先発売...9/3
一般発売...9/5

名曲は何故名曲なのか？を知るシリーズの第2回は、そのドラマ性が人気の長唄「勧進帳」です。

天保三年（1832）に七代目市川團十郎が息子に名跡を継がせる際に制定した歌舞伎十八番のうちの一つ『勧進帳』は、能「安宅」を元になっています。明治期に九代目團十郎がより洗練させて歌舞伎の代表的な作品となりました。兄頼朝から謀反の疑いをかけられた義経一行は、山伏姿に変装して奥州へ落ち延びようとしています。加賀国安宅にさしかかったところ、安宅の関守富樫に止められています。ここで弁慶は

東大寺再建の勧進（寄付集め）をする山伏だと言って通ろうとし、白紙の巻物を堂々とそれらしく読み上げます。義経と見破っている富樫らに対し、弁慶は義経を打擲し、その忠義心に感じ入った富樫は、一行を通すことになりました。義経と弁慶、富樫の三人の男が織りなす緊迫した情景と人情を名曲で描き出した音楽劇を、杵屋勝四郎と杵屋勝国は演奏で堪能ください。

杵屋勝四郎



杵屋勝国



おすすめ公演 Pick Up

川本嘉子



長須与佳



紀尾井 午後の音楽会

旅 — 人生 —

人生は旅に喩えられることが多くあります。今回の旅シリーズの終点で、薩摩琵琶とヴィオラはどんな音楽を紡ぎ出すでしょうか。

2020
1/16 木

13:30開演

友の会優先発売...9/24
一般発売...9/26

薩摩琵琶による『祇園精舎』は、平家琵琶とまた異なった旋律で、誰もが知る名文を語ります。続いて薩摩の英雄『西郷隆盛』で琵琶の響きを存分に、人生の集大成のようなヴィオラ版でのパツハ無伴奏チェロ組曲第一番も必聴です。

そして二人が共演するのは、野平多美さん編曲による『琵琶と尺八とヴィオラのための祇園精舎』。小学4年生から琵琶と尺八を同時に習っていた長須さんと尺八を同時に習っていた長須さん

が、途中2種の楽器を持ち替えながら川本さんのヴィオラと共演する「祇園精舎」はどのような結末に？

旅については多くの格言がありますが、フランスの小説家マルセル・ブルーストが「本当の旅の発見は新しい風景をみることではなく、新しい目をもつことにある」と語ったように、さまざまな音楽を経たこの旅のシリーズも、音楽への新たな視点を発見する一助となることを願っています。

邦楽名曲 解体新書

第三回

生田流箏曲

千鳥の曲

箏曲の成り立ちと 演奏形式を知る

『千鳥の曲』の解説の前に、そもそも箏曲とはどのような音楽なのかについてお話しします。箏曲ははじめ、目が不自由な方の音楽として成り立ちました。検校の音楽的能力は晴眼者とは比べものにならないくらい超絶的で、歌の構成も細かい。プロの演奏家がそれをマスターするのは当たり前としても、アマチュアの方がされるのはすごいことなんです。今は昔と違って稽古日も少ないです。だから私はお弟子さんたちに「あなたたち天才だからね。すごいことやってるのよ」と言っているんです(笑)。

箏曲の多くは弾きながら歌う「弾き歌い」です。箏曲家は三絃(三味線)・箏・歌の三つがでなければいけません。他の邦楽のジャンルでは「唄方」「三味線方」のように分業が多いので、羨ましいですね。箏曲家は「三重苦」なんです(笑)。また、箏曲は箏だけの曲というのが非常に少なく、ほとんどが「三曲」という合奏形式をとります。元々は箏・三絃・胡弓の合

私のおすすめ この一曲

お話し
米川敏子さん

千鳥の曲

安政二年(一八五五)

作曲者 吉沢検校(二世)

奏でしたが、現在では胡弓に替わり尺八で演奏することがほとんどです。

千鳥が波間に舞う 美しい自然の情景

『千鳥』は『六段』と並ぶ箏曲の代表曲です。構成は、まず前弾きが優雅ですね。箏曲のルーツは雅楽にあるので、その雰囲気を感じます。吉沢検校作曲の「古今組」(『千鳥の曲』『春の曲』『夏の曲』『秋の曲』『冬の曲』の五曲)に用いられる調弦を「古今調子」と言いますが、江戸時代にしては珍しく明るい音です。近世から近代に移る過渡期だからでしょうか、新しい時代への変化を感じますね。当時の人にとっては新鮮な音だったと思います。『千鳥』は中国から伝来した明清楽の音階に似ているとも言われており、半音が少ないのが特徴です。

次に古今和歌集の歌を一首歌い、それから「手事」(歌と歌の間に挟まれた、楽器だけの長い間奏部)となります。ここはテンポよく演奏される部分で、「本手」と「替手」(※)のかけあいも楽しんでいただきたいと思います。



【詞章】

塩の山、マシでの磯に住む千鳥、
君が御代をば八千代とぞ鳴く、君が御代をば八千代とぞ鳴く。
淡路島、通ふ千鳥の鳴く声に、
幾夜寝ざめぬ須磨の閑守、幾夜寝ざめぬ須磨の閑守。

2016年、紀尾井ホールでヴァイオリニストの篠崎史紀さんと弾かせていただいたことがあります。明治時代、都山流尺八の流祖中尾都山先生が千鳥のヴァイオリン譜を作っていたので、私の箏を本手、篠崎さんのヴァイオリンを替手で合わせてみました。その後モスクワ音楽院でロシア人のヴァイオリニストとも演奏しました。私が「シャ・シャ・テン」と弾くとヴァイオリンが「タン・タン・タン」と同じ音を三つ弾く。私は子どもの頃からこれ60年以上『千鳥』を弾いているのですが、その時生まれて初めて千鳥がパートと飛び立っただけです。ああ、この曲はちゃんと千鳥が飛ぶように作られているんだなあ、自分でもびびりました。それ以来、演奏する時はお客様に情景を感じていただくことを意識しています。

手事が終わると、今度は金葉和歌集から「淡路島、通う千鳥の鳴く声に、幾夜寝ざめぬ須磨の閑守」。百人一首にもある有名な歌ですよね。ここはゆっくり歌い、余韻を残しながら終わります。『千鳥』は大曲ではありませんし、箏曲は長唄や清元などの歌舞伎音楽とは異なり物語性や際立った山場はありませんが、千鳥が舞う美しい情景と波の音を思い浮かべながら聴いていただけたらと思います。

※本手、替手…地歌や長唄などの三味線音楽で、原曲の旋律を本手、それと合奏できるように作られた別の旋律を「替手」という。



◆ 米川敏子(よねかわとしこ) ◆

東京都生まれ。3歳より、母初代米川敏子(文化功労者・人間国宝)に地歌・箏曲の手ほどきを受ける。1989年より、国際交流基金の自主派遣により欧州12か国にて演奏ほか、海外公演多数。1994年度芸術選奨文部大臣新人賞、1995年度文化庁芸術祭優秀賞、1998年度日本伝統文化振興財団賞、2004年度エクソンモービル音楽賞、2005年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2007年米川裕枝改め二代目米川敏子を襲名。2011年紫綬褒章受章、2015年日本芸術院賞受賞。2018年度文化庁文化交流使。

文・イラスト/尾花知美
(月刊『江戸楽』編集部)

ブラジルとクラシック

をめぐる3つの話 文・松本 學



Teatro Amazonas

ブラジルとクラシック音楽。どうもイメージが湧きにくい組み合わせかもしれませんが。しかし、ヘルツォークの映画『フィツカラルド』冒頭の舞台にもなったマナウスのアマゾナス劇場は19世紀末に建てられていますし、クラシック音楽そのものもそれよりずっと以前からこの国の文化として浸透しています。今回はブラジルとクラシックの関係をめぐる3つのお話です。

1 ブラジルにおけるクラシック音楽受容

南米で最大の国土を持ち、唯一スペイン語でなくポルトガル語を公用語とする国、ブラジル。この国の音楽というと、サンバはもとより、ジョアン・ジルベルトやアントニオ・カルロス・ジョビン、ナラ・レオン、カエターノ・ヴェローゾ、ガル・コスタといったボサノヴァやMPB(ムジカ・ポプラーレ・ブラジレイラ)のシンガーのイメージがどうしても真っ先に浮かんできます。

しかし、ブラジルはクラシック音楽の歴史も古くから刻まれてきた国なのです。この国における西欧クラシック音楽は、おそらく植民地時代の16世紀にキリスト教の宣教師によって持ち込まれたと考えられています。現存する最古の作品としては、18世紀半ばのバイア州のカテドラルの楽長カエターノ・ジ・メロ・ジェズスやレシフェの教会楽長ルイス・アウヴァリス・ピントらのものが知られています。18世紀後半には経済の発展もあつて芸術活動が活発化し、19世紀に入ると、1808年に半島戦争(スペイン独立戦争)のあおりでポルトガル王室がリオデジャネイロに遷都したために、さらに活況を呈するようになりました。この時に、王室付属礼拝堂の楽長に任命されたのがブラジル最高の音楽家と称えられるヌネス・ガルシアです。また、1816年にオーストリアからリオの宮廷に招かれたジギ

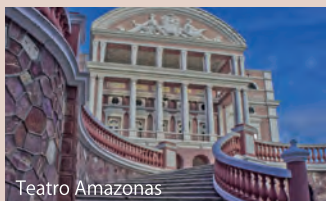
スメント・ノイコムは、1819年にモーツァルトのレクイエムが南米初演された際に『リベラ・メ』を追加作曲しました。

1822年のブラジル独立後はオペラやサロン音楽が盛んになります。ブラジルのクラシック音楽の父と称されたカルロス・ゴメスはこの頃に活躍。またフランシスコ・ブラーガはワグナー風の作品を書いています。さらに19世紀半ばには国民楽派が登場、大衆的な旋律やリズムを作品に用い、ブラジル・クラシック音楽のアイデンティティを強固にしてゆきました。

2 20世紀

20世紀前半からブラジルのクラシック音楽界を牽引したのは、先のトム・ジョビンも影響を受けたと言われるエイトル・ヴィラ・ロボス(1887~1959)です。とても多作で、生涯に書いた作品は1000にも及ぶと言われている。交響曲からピアノ曲まで、楽想も編成もヴァラエティに富み、図形楽譜も含むさまざまな作品を手がけました。その中でも、特に彼の代表作となっているのが、9曲からなるブラジル風バッハと15ほどのシヨロのシリーズです。

活き活きとしたリズム、バッハから大衆音楽までの研究によって得た多彩で個性的、そして時にエキゾ



Teatro Amazonas

テイックな旋律と立体的な楽曲構造がヴィラ・ロボスの音楽の特徴です。チェロ作品が多めなのは、独学で音楽を学んだ彼が唯一、人に習ったのがこの楽器だったため、その分愛着があるからでしょう。なお、彼の後輩には、ブラジルのシヨパンとも言われるエルネス

ト・ナザレー(1863~1934)がおり、ヴィラ・ロボスは彼の「ブラジルの魂」と呼びました。

ブラジル(やポルトガル)音楽でキーワードとなるひとつが「サウダーヂ」という概念です。これはファドなどでもよく用いられる言葉で、「一般に「郷愁」、あるいは「憧憬」などと訳されます(ジルベルトの『Chega de saudade』は「想いあふれて」と译されていますね)。ヴィラ・ロボスの作品でも、ブラジル風バッハ第5番の第1楽章の旋律をはじめ、シヨロス第1番、またギターのためのブラジلم謡組曲やアマゾンの森、感傷的なメロディなど、これがサウダーヂという感覚かな?という甘やかで懐かしい音楽が随所に現れます。ぜひ聴いてみてください。

3 サウダーヂ

ブラジルとクラシックをめぐる紀尾井ホール公演

11/28(木) 19:00開演 販売中

Mitsubishi Corporation Presents

アントニオ・メネセスとチェロの名手たち

〔曲目〕

バッハ：チェロ・ソナタ第3番ト短調 BWV1029

ヴィラ=ロボス：チェロ・ソナタ第2番

ブラジル風バッハ第5番
(ソプラノと8本のチェロのための)

ブラジル風バッハ第1番
(8本のチェロのための)

バッハ/ヴィラ=ロボス：フーガ(変ホ短調 BWV853)

(平均律クラヴィア曲集
第1巻第8番より)

現在、ブラジル外務省は、18世紀以降のブラジル作曲家の作品を世界に広めることを目的に「ブラジル・イン・コンサート Brasil em Concerto」というプロジェクトを立ち上げています。その一環として、19世紀から20世紀にかけて作曲された100以上の管弦楽曲を2023年までにアルバム約30枚分として録音することをはじめ、室内楽作品や声楽作品も録音する予定です。

フォトレポート

最近の公演から

アンケートより

貴重な演奏を聞くことができました。普段親しんでいる「曲」や演目がどのような経過でできていったのか新たな視点で知ることができました。

5.20 音楽でつづる文学1
平家物語
— 高倉天皇と小督 —



▲平家琵琶を伝承・研究する数少ない演奏家の三人です。これからの活躍が期待されます。

5.29 近松門左衛門作 鳥越文藏 発意・監修
鶴澤燕三 作曲
5.30 出世景清 素浄瑠璃公演



アンケートより

解説の内容もとても楽しく大変聞きごたえのある公演でした。人形なして聞けたのはかえって有難いことでした。語りのものとしての義太夫節の力量を、じっくり味わうことができ幸いでした。

6.20 新 紀尾井素踊りの会
第一回
藤間勘十郎



▼「柏の若葉」金の地に柏の葉が美しく描かれた扇が踊りを引き立たせています。

6.7 カルテットの饗宴2019
アポロン・ミュザゲート弦楽四重奏団



◀本番前のリハーサル中。気さくで明るいメンバーの皆さんです。

6.21 紀尾井ホール室内管弦楽団
6.22 第117回定期演奏会



コントラバスの吉田秀さん。ソロの見せ場で金の蝶ネクタイ! 似合ってます。

7.4 紀尾井 午後の音楽会
旅 途上



◀前日のリハーサルにて。監修の徳丸吉彦さんと。良いリハーサルができて充実の笑顔です。



◀「ブルチネルラ」のひとコマ。土曜公演ではマエストロが歌手陣に交ざってお芝居する場面も!

紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員

(五十音順・株式会社等表記及び敬称略) 2019年8月1日現在

- 特別協賛 日鉄ソリューションズ/三菱商事
- みやび会員 伊藤忠商事/大島造船所/KDDI/菅原/住友商事/丸紅/三井住友銀行/三井物産/三井不動産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほかに匿名2社
- ひびき会員 オカムラ/さらぼし銀行/竹中工務店/山下設計
- みどり会員 青鬼運送/赤坂新築/赤坂 エクセルホテル東急/今治造船/ヴォートル/エケーディ/Aラング&ゾーネ/NSシフォニーオーケストラ/NTTドコモ/荏原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/スタインウェイ・ジャパン/西武プロパティーズ/大成建設/高砂熱学工業/千代田商事/テイスト・ライフ/東芝ライテック/永田音響設計/日活アド・エイジェンシー/日本ハム/ニューオーターニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/富士ゼロックス/松尾楽器商会/三井住友信託銀行/三菱電機ビルテクノサービス/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージション/明治座舞台/ヤフー/ヤマハサウンドシステム/有帆
- おおい会員 青木陽介/石崎智代/磯部治生/井上善雄/片山能輔/栗山信子/近藤貴子/佐久間庸行/佐部いく子/志立正嗣/清水多美子/清水康子/鈴木 亮/高下謙吾/高橋義徳/外山雄三/中島 博/中西達郎/西村剋美/馬場弘之/原田清朗/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 力/松本美恵/養輪永世/陸田 実/村上喜代次/村田正仁/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子 ほかに匿名21名 計710

特別支援会員

(社名五十音順・株式会社等表記略)

- アステック入江/五十鈴/NSコナテッド海運/NSコナテッド内航海運/エヌエスリース/エヌテック/大阪製鐵/丸鋼工業/草野産業/黒崎播磨/合同製鐵/小松ヤリテック/山九/産業振興/三晃金属工業/サンコウ/三洋海運/ジオスター/日鉄ケミカル&マテリアル/日鉄ソリューションズ/新日本電工/スガテック/大同特殊鋼/大和製鐵/高砂鐵工/高田工業所/鶴見鋼管/DNPエリオン/テツガン/東海鋼材工業/東邦シートフレーム/トビー工業/日亜鋼業/日鉄SGワイヤ/日鉄環境/日鉄建材/日鉄鋼管/日鉄鋳業/日鉄鋼線/日鉄鋼板/日鉄興和不動産/日鉄テックスエンジ/日鉄ドラム/日鉄日新製鋼/日鉄物産/日鉄物流/日鉄物流君津/日鉄物流八幡/日鉄保険サービス/日鉄ボルテック/日鉄溶接工業/日本金属/日本船渠/日本鉄板*/済田重工/富士鉄鋼センター/不動テトラ/幕張テクノガーデン/松菱金属工業/三島光産/宮崎精鋼/吉川工業

日本製鐵

(2018年度・匿名一社除く)

*2019年7月よりNST日本鉄板へ商号変更

紀尾井インフォメーション

Report レポート

第29回 日本製鉄音楽賞 受賞記念コンサート

7月3日(水) 紀尾井ホール (主催:日本製鉄株式会社)



左後ろから
伊東 裕さん、秋元孝介さん、
林 喜代種さん、小川響子さん

第29回日本製鉄音楽賞の受賞記念コンサートが、7月3日に開催されました。

前半は特別賞を受賞された舞台写真家の林喜代種さんによるトーク。舞台やアーティストを撮り続けて40年以上の氏が常に心がけているのは、被写体となる“その人の本質”を撮ることだそうです。過去に撮影した写真を見ながら当時のエピソードを交えて、その軌跡をたどりました。

後半はフレッシュアーティスト賞を受賞された葵トリオ(ピアノ三重奏団)が登場し、ショスタコーヴィチ:ピアノ三重奏曲第1番、ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲第7番《大公》、そしてアンコールに

応えてハイドン:ピアノ三重奏曲第27番から第3楽章を演奏しました。個々の高い演奏技術はもちろん、3人がまるで会話をしているかのように息のぴったり合った演奏は、時に抒情的に、時にダイナミックに、大きな渦となって客席を包み込みました。東京クワルテットのように世界の舞台上で長く活躍するグループになりたい、とメンバーを代表してピアノの秋元さんが挨拶。これから3人はドイツでさらに研鑽を積み、世界へ羽ばたいていきます。



紀尾井友の会 特典施設の ご紹介 36

コーヒーショップ SATSUKI ホテルニューオータニ ザ・メイン ロビー階



スーパーモンブラン

※写真はイメージです。

9月1日からいよいよ販売を開始する「スーパーモンブラン」。和栗の中でも「奇跡の栗」と称される「利平」や「栗の王様」と呼ばれる「銀寄」、さらに今年は希少な品種と言われる「人丸」も採用。その時季一番の食べごろを迎えた和栗を厳選し作られるため、食べる時季により風味や旨みが変わる、和栗との一期一会をお楽しみいただけます。その他、黒毛和牛のビフテキ丼など、下町メニューをホテルクオリティに引き上げた「特撰メニュー」や、ランチ、ディナーのコース料理など、もちろんコーヒー一杯でもご利用いただけます。

営業時間 7:00~24:00 お問い合わせ TEL:03-5275-3177 (受付時間:7:00~24:00)

紀尾井ホール 友の会会員限定特典

東京都八丈島の自然豊かな環境でのびのび育ったジャージー牛から採れる牛乳で作った「ミルクジェラート」をプレゼント。



■期間 2019年9月30日(月)まで (提供時間 11:00~24:00)
■食事ご利用時に限り ※ご利用の際は会員カードをご提示ください。

ホール正面入口の喫煙スペースを廃止します



すでに施行されている都の受動喫煙防止条例、2020年4月の改正健康増進法施行を受け、9月1日(日)より従来正面入口付近に設置していた喫煙スペースを廃止することといたしました。多くのお客さまがより気持ちよく当ホールをご利用いただけますよう、ご理解とご協力をお願いします。

紀尾井友の会のご案内

友の会に入会すると嬉しい特典盛りだくさん! ぜひご入会ください。

- ♪ 財団主催公演チケット 優先発売・割引
- ♪ 「紀尾井 明日への扉」公演などへご招待
- ♪ 会員さま限定イベント開催
- ♪ ホール周辺ホテル・レストラン等の利用特典

年会費
3,000円
(入会費不要)

紀尾井ホールウェブチケット 紀尾井友の会 検索

お問い合わせ 申し込み・資料のご請求・お問合せ
紀尾井友の会事務局 TEL.03-5276-4540 (10:00~17:00/土・日・祝休)
※詳しいご案内は紀尾井ホールホームページでもご覧いただけます。

編集部だより

●表紙から 昨秋に新宿御苑で撮影したプラタナスの並木です。昨年は強風・豪雨が多く、関東も塩害で一部草木が枯れていて心配しました。その中で雲一つない秋晴れの空に黄色い大きな葉がいっぱい広がる美しい並木が目飛び込んで、心が躍りました。

●編集後記 KCO首席指揮者ライナー・ホーネックの任期延長を発表しました。皆さまへ向けてメッセージを配信していますので、こちらも併せてご覧ください(P.3に詳細を掲載しています)。撮影時に「ちょっと格好つけた感じで。ここに立って、角度はこう」などとディレクションすると、照れた笑顔で「オーケー、オーケー」。舞台上では圧倒されるくらいのオーラを放つマエストロ、普段はシャイでチャーミングな一面を見せてくれます。(E)

公式SNSで
最新情報
配信中♪



Facebook
主催公演の様態やバックステージの様子など、旬の話題を配信中!
<https://www.facebook.com/kioihall/>



Twitter
主催公演の最新情報を配信中!
いち早く紀尾井ホールの情報をお届けしています。
https://twitter.com/kioi_pr



紀尾井ホール室内管弦楽団 Facebook
楽団の活動情報をいち早くお届け。
リハーサルの様子やオフショットなども公開しています。
<https://www.facebook.com/KCO.Tokyo/>



YouTubeチャンネル
出演者インタビューや演奏風景など随時配信中。
ここでしか見られないアーティストの横顔が見られるかも?!
<https://www.youtube.com/user/KioiHall>

